

「人にやさしい看護」で
患者さんの「ありたい姿」を叶える



SAISEIKAI IBARAKI HOSPITAL NURSING

看護職員募集案内

茨木の「I」 私の「I」 一步一步の「I」
成長し続ける自分になる



社会福祉法人 大阪府済生会茨木医療福祉センター
大阪府済生会茨木病院

EDUCATION OF NURSING

教育 & 支援システム

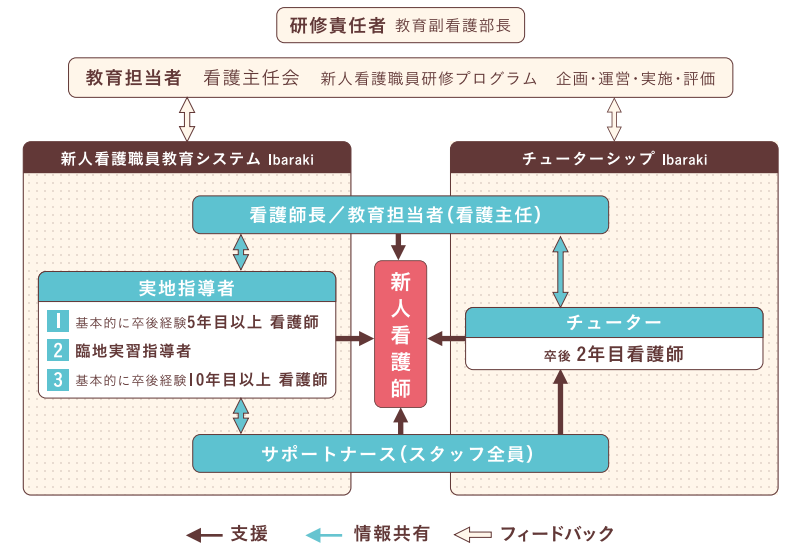
一步一步、自分のペースで成長できる、 きめ細かなサポート体制

新人看護師の1年目は、その後の看護師としての姿勢を決定づける貴重な期間。だからこそ、一人ひとりの個性や習熟度をしっかりと見守り、導くことが大切です。本人に適したペースで、着実に知識と技術を習得できるよう手厚く支援しています。

WLB 施設・地域で働く看護職のワーク・ライフ・バランスの推進に貢献したとして2015年に公益社団法人日本看護協会からカンゴサウルス賞を受賞しました。
(審査期間:2011年~2014年)



▶ 新人教育について



1年目の学習プログラムと目標

1年を大きく3つのステップに分け、段階的に学びます。

STEP1 初期 (4月-6月)



5月: 静脈注射

日勤を把握し
病棟の一員として働く。

看護師業務の基本となる日勤の業務の流れを把握し、病棟のメンバーとしての自覚を持ちます。

STEP2 前期 (7月-10月)



10月: ACLS

チームメンバーとしての
対応力を身につける。

根拠に基づいた看護を意識し、チームの中での自分の役割を理解しながら状況に応じた行動を取ります。

STEP3 後期 (11月-3月)



11月: 退院支援

受け持ちの患者さんに対し
入院から退院までを見届ける。

フィジカルアセスメントの能力を強化しつつ、受け持ち看護師として患者さんとしっかり向き合います。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ● 新人研修 (約14日間) ● コミュニケーション I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護記録① ● 危険薬① ● 血糖測定 ● 静脈注射① ● 部署別研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護管理 I ● 静脈注射② ● 部署別研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護記録② ● 心電図 ● 放射線安全管理 ● 部署別研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸液 ● シリンジポンプ ● 部署別研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 危険薬② ● フィジカルアセスメント ● 部署別研修 ● 中間振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ● ACLS ● エンゼルケア ● 多重課題① ● 部署別研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定チームナーシングにおける受け持ち看護師の役割 ● 看護記録③ ● 退院支援 		<ul style="list-style-type: none"> ● 看護倫理 I ● 部署別研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多重課題② 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終振り返り

先輩と後輩が共に育つ「共育」をベースに、新人看護師を全面的にバックアップ。

新人看護師の育成は、「知識・技術面の指導」と「メンタル面のサポートや日常のアドバイス」に大別されます。前者を担うのが新人看護職員教育システムで、済生会茨木病院では実地指導者が指導にあたります。後者を担うのがチューターシップで、2年目の看護師が1年前の自分を思い出しながら新人をフォロー。いずれも看護師長・主任・副主任をはじめ、サポートナースとしてスタッフ全員が新人を見守り、情報を共有して成長を促します。



2・3年目の学習プログラムと目標

- 2年目**
- ・チームメンバーの役割と責任を認識し行動する。
 - ・標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●管理・コミュニケーション	●チューター情報交換会(中間)	●固定チームナーシング(日々のリーダーの役割)	●チューター情報交換会(最終)	●看護倫理							
院内留学(卒Ⅱ)病棟→手術室/手術室→病棟(1日)											

- 3年目**
- ・チームにおいてリーダーシップを発揮する。
 - ・ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●看護理論・ケーススタディ勉強会	●リーダーシップ	●チームトレーニング研修(安全)	●看護理論	●ケーススタディ発表会							
ケーススタディ(卒Ⅲ)											
院内留学(卒Ⅲ):5日間											



MESSAGE

専任の教育担当者が研修・実践をサポートします。困った時、職場の先輩には相談しにくい時、いつでも声をかけて下さい。一緒に考え、一緒に悩み、共に育ちあいましょう。

WEB CONTENTS

済生会茨木病院の新人教育についてもっと知りたいなら
新人×チューター×実地指導者座談会



済生会茨木病院はキャリア入職でも働きやすい！
キャリア入職者による座談会



SPECIALIST

専門性を高めたスペシャリスト

済生会茨木病院は、高度で専門的な知識と技術を持った認定看護師・特定行為看護師の育成に努めています。認定看護師・特定行為看護師は、質の高いケアを提供し、チーム医療の一翼も担う存在です。スペシャリストとしての立場から、院内の看護全体のレベルアップも推進します。

がん化学療法看護認定看護師

小山 紀久美さん [2014年入職]
 外来 化学療法室 特定行為研修修了者



外来通院治療を行うがん患者さんが、日常生活を送りながら治療を続けられるように支援しています。患者さんに「いつもいてくれて安心する」と言ってくれたときや、困難な仕事を仲間と乗り越えられたときには達成感を感じます。また、日々看護を提供する以外に、看護師のがん薬物療法の知識・技術の向上を図る活動をしています。当院には、「看護師として成長したい」という思いを支援してもらえる環境があります。その中で、自分らしく一緒に成長していきましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師

吉岡 千種さん [2008年入職]
 看護主任 特定行為研修受講中



病棟主任として勤務しながら、褥瘡対策委員会に所属して、褥瘡対策チームラウンド、リンクナース会議、看護師への褥瘡ケアやストーマケアの教育・指導、ストーマケアの看護外来を行っています。また、現在、特定行為研修を受講中で、褥瘡のデブリードマン、VAC療法やカテーテル管理についての手技を修得中です(2024年12月現在)。患者さんを大切に思う仲間と一緒に、温かいケアを届けていきましょう。

大阪府済生会茨木病院

理念

済生会創生の「救療済生」の精神に基づき、地域の医療・福祉に対し、ゆるぎない真の貢献を果たす。



当院は、茨木市唯一の公的病院として、充実の設備・技術・環境を整えることはもちろん、地域のかかりつけ医の皆さまや福祉との連携を含め、「切れ目のない医療」の提供を実現しており、患者さんのみならず、ご家族の皆さまにも信頼と安心をお届けしております。

院是 「和と親切」

診療科

内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、精神科・神経科

病床数

315床

関連施設

- 介護老人保健施設「ライフポート茨木」
- 大阪府済生会茨木訪問看護ステーション
- 茨木地域密着型特別養護老人ホーム「やすらぎ」
- 春日・郡・畑田 地域包括支援センター
- 企業主導型保育所「なでしこキッズ保育所」

連絡先

TEL 072-622-8651

FAX 072-627-2022

病院見学会・インターンシップ



看護部HP

病院説明会・
インターンシップは
看護部HPへどうぞ

交通
アクセス



看護部
Instagram



数字で見る済生会茨木病院

315 床
病床数

686 名
職員数



267 名

看護師職員数

(常勤208名・非常勤59名)

助産師6名(常勤5名・非常勤1名)

准看護師9名(常勤3名・非常勤6名)

介護福祉士18名(常勤13名・非常勤5名)

看護助手29名(常勤10名・非常勤19名)

400 名
1日の外来患者数



3,900 件
年間の救急車
受け入れ台数
(令和5年)



2,300 件
手術件数
(令和5年)



25
診療科目

7.6 年
看護職員の
平均勤続年数

250 名
1日の入院患者数

19 名
男性看護職員の
人数

4 名
認定看護師数

48.6 %
ママ・パパナースの
割合

平均 **12.8** 日(68%)
有給休暇習得日数

37.5 歳
看護職員の
平均年齢